

農業・食品産業競争力強化支援事業に関する事業評価シート

【事業名】平成17年度広域連携等産地競争力強化支援事業 高モデル・先進型事業

東北農政局

都道府 県名	市町村 名	事業実施 主体名	取組名	事業実 施年度	成果目標 の具体的 な内容	成果目標関係			事業評価 の検証方法	費用対効果 分析関係		事業計 画の妥 当性	適正な 事業執 行	地方農政局長等 の意見
						現状値	目標値	結果		計画値	結果			
岩手県	一戸町	(有)岡外牧 場	広域連 携等産 地競争 力強化 支援事 業	17年度	労働時間 の65%削 減	搾乳牛 1頭当 たり/ 年 174.6 時間	搾乳牛 1頭当 たり/ 年 60.5時 間	搾乳牛 1頭当 たり/ 年 51.7時 間	国が実施している生産費調査項目の現状値と事業導入後の数値により産出。酪農経営における労働時間を10項目に区分し、具体的な労働時間を調査し、事後評価を検証する。	1.16	0.63	1	2	搾乳牛1頭あたり労働時間は目標値を上回る削減が図られており、成果目標は達成された。

- (注) 1 費用対効果分析は、事業採択時と同様の方法で実施すること。
 2 実施要領別記1の第5の2の(1)のウにより、生産局長が災害等により事業計画で定めた方法では評価が困難と判断した場合は、その旨を生産局長の意見の欄に記述すること。
 併せて、代替案で事業評価を実施した場合は、一段下の欄に事業評価の検証方法及び評価結果を記入すること。
 3 中間的な評価の場合には目標値の欄に(中)の記述とともに中間評価の目標値を記載すること。
 4 事業計画の妥当性の欄には計画が妥当な場合には1を、計画が不適切な場合には0を記入すること。
 5 適切な事業執行の欄には、事業が適切に実施された場合には1、適正に実施され、更に競争入札を実施した場合には2を、それ以外の場合には0を記入すること。